

2025年7月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年9月12日

上場会社名 株式会社アースインフィニティ 上場取引所 東
コード番号 7692 URL <https://www.earth-infinity.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）濱田 幸一
問合せ先責任者（役職名）取締役（氏名）松田 ありさ（TEL）06-4967-2222
定時株主総会開催予定日 2025年10月28日 配当支払開始予定日 2025年10月29日
有価証券報告書提出予定日 2025年10月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年7月期の業績（2024年8月1日～2025年7月31日）

（1）経営成績（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年7月期	6,725	34.5	696	151.3	674	186.9	461	206.8
2024年7月期	5,000	△4.6	277	△53.2	235	△53.7	150	△61.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年7月期	4.19	—	44.0	24.9	10.4
2024年7月期	1.36	—	17.2	9.5	5.6

（参考）持分法投資損益 2025年7月期 ー百万円 2024年7月期 ー百万円

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年7月期	3,061	1,205	39.4	10.95
2024年7月期	2,366	887	37.5	8.06

（参考）自己資本 2025年7月期 1,205百万円 2024年7月期 887百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年7月期	389	△6	△68	880
2024年7月期	79	△7	△468	566

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年7月期	—	0.00	—	1.30	1.30	143	95.2	16.4
2025年7月期	—	0.00	—	2.10	2.10	231	50.1	22.1
2026年7月期（予想）	—	1.30	—	1.30	2.60		52.1	

3. 2026年7月期の業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	4,054	18.8	384	38.4	380	39.8	312	81.3	2.83
通期	8,002	19.0	819	17.6	800	18.6	549	19.2	4.99

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年7月期	110,131,200 株	2024年7月期	110,131,200 株
② 期末自己株式数	2025年7月期	1,008 株	2024年7月期	1,008 株
③ 期中平均株式数	2025年7月期	110,130,192 株	2024年7月期	110,130,192 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(収益認識関係)	10
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、個人消費や輸出の一部に弱さが残るものの、設備投資の持ち直しなどの広がりを背景に雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調を示しました。

しかし、米国の関税政策などによる影響や不透明な国際情勢の影響により、景気の先行きには依然として不確実性が続いております。

このような環境の中で、当社は、『人や仲間が集まり続け 求められ応え続ける会社』という理念のもと、脱炭素社会実現への取り組みとして再生可能エネルギー開発への投資やSDGsに関する企画への参画を行い、中長期的な成長を視野に見据え事業活動を行ってまいりました。

以上の結果、当事業年度における当社の業績は、売上高は6,725百万円（前期比34.5%増）、営業利益は696百万円（前期比151.3%増）、経常利益は674百万円（前期比186.9%増）、当期純利益は461百万円（前期比206.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エネルギー事業)

エネルギー事業におきましては、売上を継続的に獲得できる基盤作りを目指して、代理店による顧客獲得を大幅に強化し、中小企業及び一般家庭を中心に電力及びガスの営業活動を行い契約を獲得しております。

また、当社独自の燃料費等調整額（電力市場調達コストを電気代に反映する仕組み）の導入により、日本卸電力取引所の価格高騰に対するリスクヘッジを図り、2024年4月1日より実施された容量市場及び容量拠出金への対応を行い、安定的な業績成長と脱炭素社会に向けた取り組みを行ってまいりました。

これらの結果、売上高は6,637百万円（前年比36.9%増）、セグメント利益は1,104百万円（前期比77.2%増）となりました。

(電子機器事業)

電子機器事業におきましては、既存顧客のリースアップに伴うリプレイス販売を中心とした営業活動の結果、売上高は87百万円（前期比42.9%減）、セグメント利益は30百万円（前期比10.8%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産は、前事業年度末に比べ694百万円増加し、3,061百万円となりました。主な要因は、売掛金が623百万円、現金及び預金が314百万円増加したものの、未収入金が142百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当事業年度末における負債は、前事業年度末に比べ376百万円増加し、1,855百万円となりました。主な要因は、短期借入金が200百万円、未払法人税等が155百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べ317百万円増加し、1,205百万円となりました。主な要因は、繰越利益剰余金が317百万円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度と比べて314百万円増加し、880百万円となりました。

当事業年度中に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加623百万円の減少要因がありますが、税引前当期純利益674百万円、その他に含まれる未収入金の減少142百万円、貸倒引当金の増加82百万円の増加要因により、資金は389百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得6百万円等の減少要因により資金は6百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額200百万円の増加要因がありますが、長期借入金の返済126百万円、配当金の支払142百万円の減少要因により資金は68百万の支出となりました。

(4) 今後の見通し

当社を取り巻く経済環境は、社会経済活動の正常化を背景に景気は回復基調にある一方、脱炭素・循環型社会の実現に向けた社会的要請の高まりや、米国の関税政策などを背景とする影響、さらには不透明な国際情勢の影響により、その先行きには依然として不確実性が残っております。

このような状況の中、当社は、脱炭素社会の実現を重要課題の一つとして捉え、地球環境に優しい再生可能エネルギー電源の確保や人と自然とエネルギーが共存する世界を創るため、脱炭素社会の実現に向け積極的に取り組んでまいります。

エネルギー事業につきましては、不安定なエネルギー安全保障情勢の影響で電力コストの削減に対する関心が高まっております。電源の調達においては、当社独自の燃料費等調整額（電力市場調達コストを電気代に反映する仕組み）の導入によって、日本卸電力取引所の価格高騰に対するリスクヘッジを図りつつ、代理店を活用した顧客数の確保により、安定的な成長を目指してまいります。

電子機器事業につきましては、今後も既存顧客のリースアップに伴うリプレイス販売を中心とした営業活動を継続してまいります。

これらの状況を踏まえ2026年7月期の業績の見通しにつきましては、

売上高	8,002百万円	(前年比19.0%増)
営業利益	819百万円	(前年比17.6%増)
経常利益	800百万円	(前年比18.6%増)
当期純利益	549百万円	(前年比19.2%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準（日本基準）を適用しております。将来の国際会計基準（I F R S）の適用につきましては、我が国における制度適用の状況を踏まえながら検討を進めていく考えです。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年7月31日)	当事業年度 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	566,127	880,454
売掛金	864,457	1,487,880
棚卸資産	5,268	2,131
未収入金	142,458	—
前払費用	15,806	15,402
その他	563	185
貸倒引当金	△7,006	△74,542
流動資産合計	1,587,676	2,311,511
固定資産		
有形固定資産		
建物	93,200	93,200
減価償却累計額	△14,919	△20,186
建物（純額）	78,280	73,014
機械及び装置	444,790	444,790
減価償却累計額	△45,489	△72,941
機械及び装置（純額）	399,300	371,848
工具、器具及び備品	6,466	12,536
減価償却累計額	△2,948	△5,891
工具、器具及び備品（純額）	3,517	6,645
土地	25,210	25,210
有形固定資産合計	506,309	476,717
無形固定資産		
ソフトウェア	7,469	6,019
その他	45	45
無形固定資産合計	7,514	6,064
投資その他の資産		
投資有価証券	76,247	57,953
出資金	40	40
繰延税金資産	7,308	30,563
長期滞留債権	2,080	17,730
長期前払費用	5,009	3,748
差入保証金	176,060	173,539
その他	39	23
貸倒引当金	△2,001	△16,783
投資その他の資産合計	264,783	266,816
固定資産合計	778,607	749,598
資産合計	2,366,283	3,061,110

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年7月31日)	当事業年度 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	354,223	339,959
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	126,142	80,861
未払金	56,928	145,841
未払費用	18,080	15,581
未払法人税等	56,748	212,262
未払消費税等	5,325	40,538
預り金	95,525	135,649
賞与引当金	4,738	4,319
その他	921	1,339
流動負債合計	918,635	1,376,352
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	459,817	379,050
固定負債合計	559,817	479,050
負債合計	1,478,453	1,855,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	144,974	144,974
資本剰余金		
資本準備金	70,324	70,324
その他資本剰余金	65,493	65,493
資本剰余金合計	135,818	135,818
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	607,150	925,027
利益剰余金合計	607,150	925,027
自己株式	△114	△114
株主資本合計	887,829	1,205,706
純資産合計	887,829	1,205,706
負債純資産合計	2,366,283	3,061,110

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当事業年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
売上高	5,000,237	6,725,025
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	5,150	4,225
当期商品及び製品仕入高	3,603,739	4,530,840
合計	3,608,889	4,535,065
商品及び製品期末棚卸高	4,225	1,311
売上原価合計	3,604,663	4,533,754
売上総利益	1,395,573	2,191,270
販売費及び一般管理費	1,118,224	1,494,295
営業利益	277,349	696,975
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	13	1,077
受取保険金	3,097	5,058
その他	425	1,086
営業外収益合計	3,536	7,223
営業外費用		
支払利息	5,903	10,282
匿名組合投資損失	39,249	18,294
その他	598	1,008
営業外費用合計	45,751	29,585
経常利益	235,134	674,613
税引前当期純利益	235,134	674,613
法人税、住民税及び事業税	54,332	236,822
法人税等調整額	30,521	△23,255
法人税等合計	84,853	213,567
当期純利益	150,280	461,045

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	144,974	70,324	65,493	135,818
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	144,974	70,324	65,493	135,818

	株主資本				純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当期首残高	578, 013	578, 013	△114	858, 692	858, 692
当期変動額					
剰余金の配当	△121, 143	△121, 143		△121, 143	△121, 143
当期純利益	150, 280	150, 280		150, 280	150, 280
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	29, 137	29, 137	—	29, 137	29, 137
当期末残高	607, 150	607, 150	△114	887, 829	887, 829

当事業年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	144,974	70,324	65,493	135,818
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	144,974	70,324	65,493	135,818

	株主資本				純資産合計
	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当期首残高	607, 150	607, 150	△114	887, 829	887, 829
当期変動額					
剰余金の配当	△143, 169	△143, 169		△143, 169	△143, 169
当期純利益	461, 045	461, 045		461, 045	461, 045
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	317, 876	317, 876	—	317, 876	317, 876
当期末残高	925, 027	925, 027	△114	1, 205, 706	1, 205, 706

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当事業年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	235,134	674,613
減価償却費	35,184	37,832
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,043	82,318
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,898	△419
受取利息及び受取配当金	△13	△1,077
支払利息	5,903	10,282
支払保証料	598	598
匿名組合投資損益 (△は益)	39,249	18,294
売上債権の増減額 (△は増加)	△247,942	△623,422
棚卸資産の増減額 (△は増加)	271	3,136
差入保証金の増減額 (△は増加)	19,775	2,520
仕入債務の増減額 (△は減少)	40,929	△14,263
その他	29,082	290,246
小計	153,231	480,658
利息及び配当金の受取額	13	1,077
利息及び保証料の支払額	△5,298	△9,507
法人税等の支払額	△68,417	△82,392
営業活動によるキャッシュ・フロー	79,528	389,836
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,500	△6,070
無形固定資産の取得による支出	△5,680	△705
出資金の回収による収入	100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,080	△6,775
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△148,425	△126,048
配当金の支払額	△120,400	△142,686
財務活動によるキャッシュ・フロー	△468,825	△68,734
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△396,377	314,326
現金及び現金同等物の期首残高	962,505	566,127
現金及び現金同等物の期末残高	566,127	880,454

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前事業年度(自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	エネルギー事業	電子機器事業	
電気販売	4,334,189	—	4,334,189
ガス販売	271,499	—	271,499
蓄電池・太陽光パネル販売	171,981	—	171,981
電力基本料金 削減コンサルティング	—	153,033	153,033
その他	69,533	—	69,533
顧客との契約から 生じる収益	4,847,204	153,033	5,000,237
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,847,204	153,033	5,000,237

当事業年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	エネルギー事業	電子機器事業	
電気販売	6,228,988	—	6,228,988
ガス販売	263,090	—	263,090
蓄電池・太陽光パネル販売	35,833	—	35,833
電力基本料金 削減コンサルティング	—	87,376	87,376
その他	109,737	—	109,737
顧客との契約から 生じる収益	6,637,649	87,376	6,725,025
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	6,637,649	87,376	6,725,025

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業部を置き、営業部は取り扱う商品・サービスについての包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は営業部を基礎とした商品・サービス別セグメントから構成されており、「エネルギー事業」及び「電子機器事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「エネルギー事業」の小売電気では、主に市場取引等により電力を仕入れ、中小企業及び一般家庭等に電力の供給を行っております。ガス小売では、ガス事業者よりガスを仕入れ、中小企業及び一般家庭等にガスの供給を行っております。また、蓄電池・太陽光発電システム販売では、国内外のメーカーから製品を仕入れ、中小企業及び一般家庭に販売・設置を行っております。

「電子機器事業」では、主に電子ブレーカーの販売・設置によるエネルギーコスト削減提案及びコンサルタントを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表計上額 (注) 2
	エネルギー事業	電子機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,847,204	153,033	5,000,237	—	5,000,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,847,204	153,033	5,000,237	—	5,000,237
セグメント利益	622,938	27,689	650,628	△373,279	277,349
セグメント資産	1,630,180	12,060	1,642,241	724,042	2,366,283
セグメント負債	495,200	4,769	499,969	978,484	1,478,453
その他の項目					
減価償却費	29,184	15	29,200	5,984	35,184
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	7,180	—	7,180	—	7,180

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△373,279千円は、主に本社の一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額 724,042千円は、主に本社の現金及び預金であります。
- (3) セグメント負債の調整額 978,484千円は、主に本社の短期借入金及び長期借入金であります。
2. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表計上額 (注) 2
	エネルギー事業	電子機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,637,649	87,376	6,725,025	—	6,725,025
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,637,649	87,376	6,725,025	—	6,725,025
セグメント利益	1,104,123	30,677	1,134,801	△437,825	696,975
セグメント資産	2,004,760	8,723	2,013,483	1,047,627	3,061,110
セグメント負債	610,832	3,254	614,087	1,241,316	1,855,403
その他の項目					
減価償却費	30,615	15	30,631	7,200	37,832
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	705	—	705	6,070	6,775

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額 △437,825千円は、主に本社の一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額 1,047,627千円は、主に本社の現金及び預金であります。
- (3) セグメント負債の調整額 1,241,316千円は、主に本社の短期借入金及び長期借入金であります。
2. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当事業年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
1株当たり純資産額	8.06円	10.95円
1株当たり当期純利益	1.36円	4.19円

(注) 1. 前事業年度及び当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当事業年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	150,280	461,045
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益	150,280	461,045
普通株式の期中平均株式数(株)	110,130,192	110,130,192

(重要な後発事象)

該当事項はありません。